

特 定 課 題 研 究 ― ま と め ―

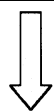
橋 爪 藤 光

国立佐倉病院

特定課題研究の主目的は、学童検尿精査追跡調査研究を主目的として応募された方々の中から、主目的に合致するであろう7名の、分担研究者を選定して、昭和60年度の研究から開始された。

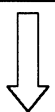
- 北川研究員は、小児慢性腎疾患の予防管理治療に関する研究班員関係者を中心に、我国における小児期発症腎疾患の疫学調査を実施され、その中間報告をした。
- 森研究員は、千葉県における学校検尿の実態と小児慢性腎疾患の調査を実施し、その第一報として中間報告をした。
- 高島研究員は、京都市を中心とした地区での小児慢性腎炎患児の罹患後の経過について、その研究成果を第一報として報告した。
- 橋爪研究員は、千葉県腎不全患者約200名の発症進展普及追跡調査研究の中間報告を行った。
- 土井研究員は、神奈川県腎尿路系疾患保健対策事業における、3才児検尿の研究につき中間報告をした。

それぞれ全国的調査と併せて、地域的に現在まで試みられている実績をふまえての発表であり、又中間報告でもあるのでこれらの集計、解析は勿論、集団としての追跡調査は今後の方向性を示唆する資料として、十分に期待しているところである。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



特定課題研究一まとめ一

橋爪藤光

国立佐倉病院

特定課題研究の主目的は、学童検尿精査追跡調査研究を主目的として応募された方々の中から、主目的に合致するであろう7名の、分担研究者を選定して、昭和60年度の研究から開始された。

・北川研究員は、小児慢性腎疾患の予防管理治療に関する研究班員関係者を中心に、我国における小児期発症腎疾患の疫学調査を実施され、その中間報告をした。

・森研究員は、千葉県における学校検尿の実態と小児慢性腎疾患の調査を実施し、その第一報として中間報告をした。

・高島研究員は、京都市を中心とした地区での小児慢性腎炎患児の罹患後の経過について、その研究成果を第一報として報告した。

・橋爪研究員は、千葉県腎不全患者約200名の発症進展普及追跡調査研究の中間報告を行った。

・土井研究員は、神奈川県腎尿路系疾患保健対策事業における、3才児検尿の研究につき中間報告をした。

それぞれ全国的調査と併せて、地域的に現在まで試みられている実績をふまえての発表であり、又中間報告でもあるのでこれらの集計、解析は勿論、集団としての追跡調査は今後の方向性を示唆する資料として、十分に期待しているところである。